

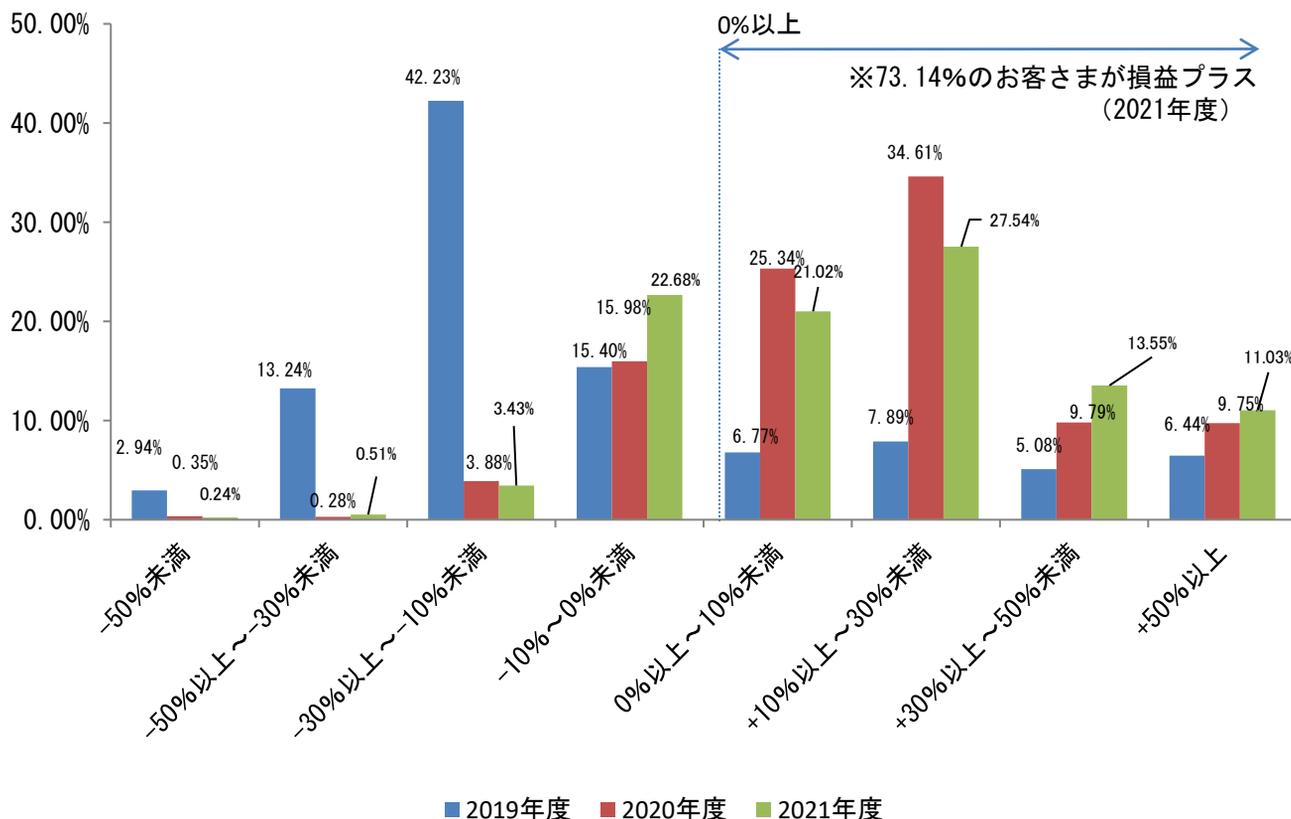
「お客さま本位の業務運営」に基づく共通KPIの取組みについて

株式会社福島銀行は「お客さま本位の業務運営」に基づくアクションプラン（共通KPI）について、取組方針を明確にしてお客さまとの“絆”を大切に、お客さまの夢の実現に向けて取り組んで参ります。

(1) 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

① 「運用損益別顧客比率」

お客さまへの長期・分散投資を提案しておりますが、運用損益がプラスとなったお客さまの比率は、投資信託で73.14%となりました。（2022年3月31日現在）



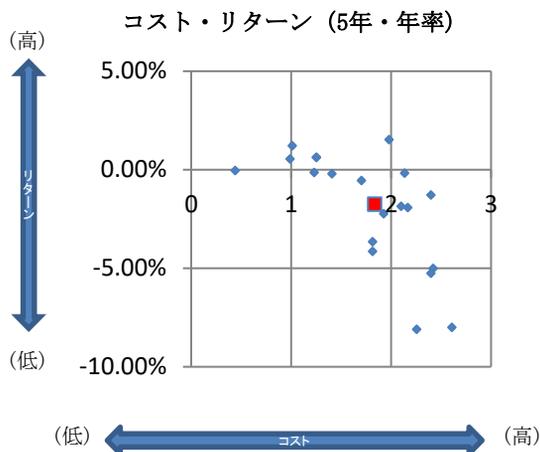
運用損益別顧客比率は、投資信託を保有しているお客さまについて基準日時点（各年3月末）の運用損益（手数料控除後）を算出し、お客さまの割合を運用損益率毎に区分けしてグラフに表しました。この指標により、お客さまが保有している投資信託について、購入後どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
 ③投資信託預り残高上位20銘柄のリクス・リターン

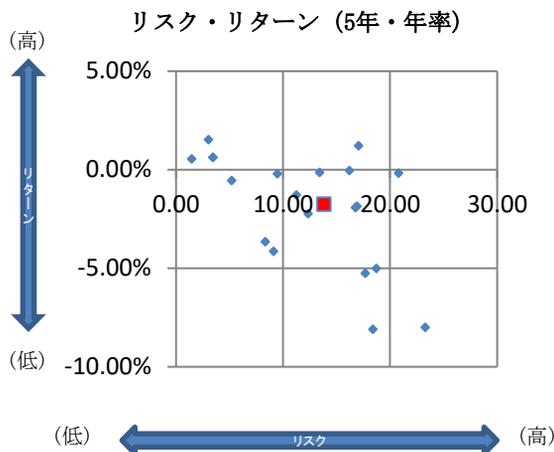
基準日時点で設定後5年以上の投資信託の残高上位20銘柄について、銘柄毎および残高加重平均のコストとリターンの関係およびリスクとリターンの関係を表したものです。

(過去5年間のコスト・リターンおよびリスク・リターンを年率換算したものです。) 一部の投資信託のリターンが改善した結果、リターンの加重平均値は前年度より改善しました。また、コストの加重平均値も前年度より改善しました。なお、リスクの加重平均値はマーケットの変動が大きかったため、前年度より上昇しました。

【2019年度】

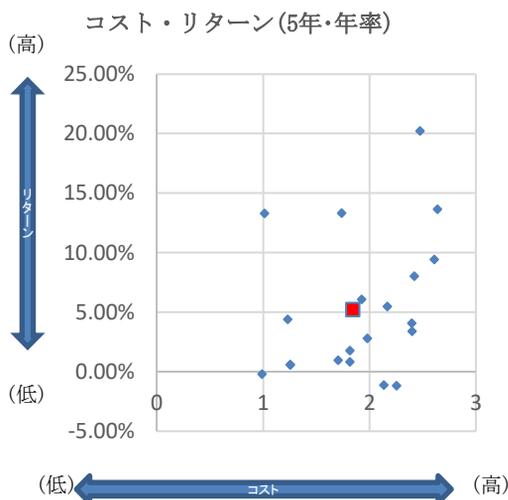


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.84%	-1.76%

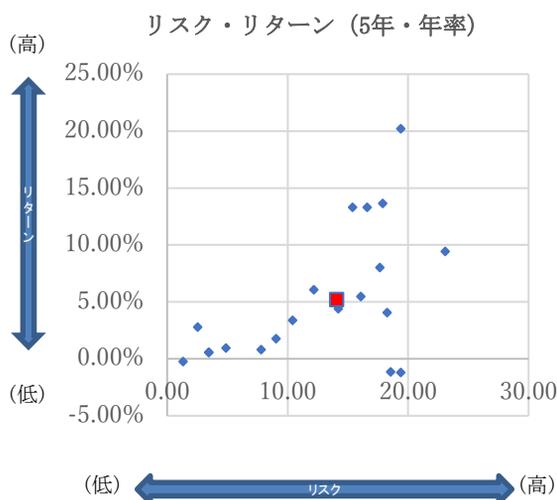


残高加重平均値	リスク	リターン
	13.85%	-1.76%

【2020年度】



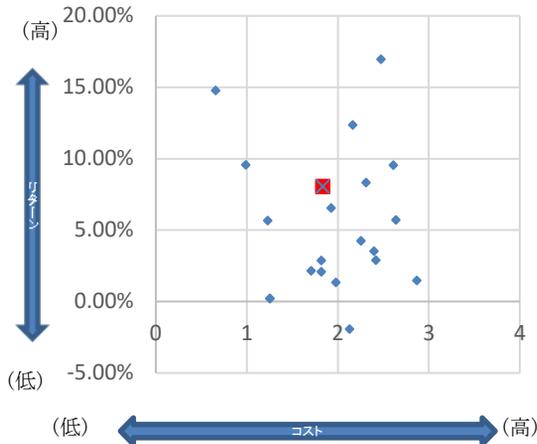
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.84%	5.20%



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.09%	5.20%

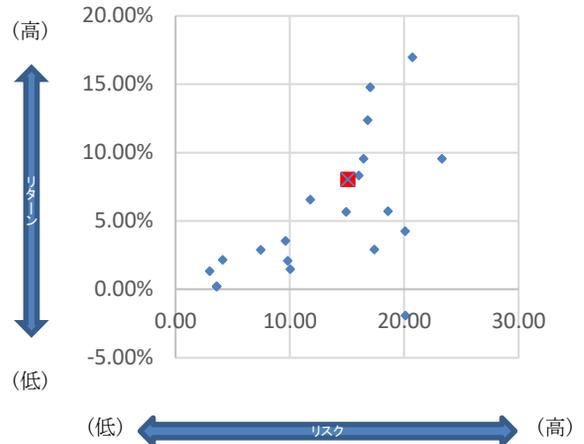
【2021年度】

コスト・リターン(5年・年率)



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.83%	8.03%

リスク・リターン (5年・年率)



残高加重平均値	リスク	リターン
	15.08%	8.03%

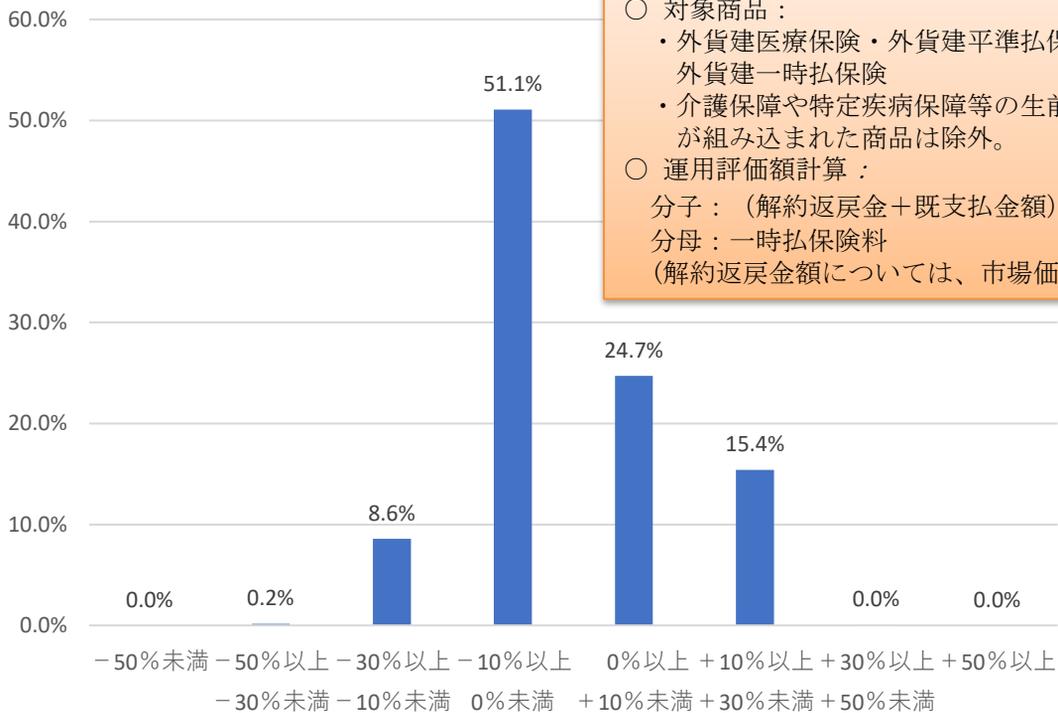
《投資信託預り残高上位20銘柄(設定後5年以上)2022年3月31日現在》

(%)

	ファンド名	リターン	リスク	コスト
1	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	12.36	16.80	2.17
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	5.67	14.90	1.23
3	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	16.96	20.71	2.48
4	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	2.08	9.80	1.82
5	インド債券ファンド(毎月分配型)	3.53	9.60	2.40
6	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.89	17.37	2.42
7	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	4.24	20.07	2.26
8	投資のソムリエ	1.32	2.99	1.98
9	ストックインデックスファンド225	9.55	16.44	0.99
10	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	2.87	7.45	1.82
11	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	0.21	3.60	1.25
12	三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	5.71	18.58	2.64
13	ワールド・リート・セレクション(アジア)	8.31	16.01	2.31
14	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	0.21	3.60	1.25
15	eMAXIS(イーマクス) 先進国株式インデックス	14.76	17.01	0.66
16	イーストスプリング・インド株式オープン	9.53	23.30	2.61
17	ロボット戦略 世界分散ファンド	1.47	10.01	2.87
18	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ(奇数月分配型) 成長重視ポートフォリオ	6.54	11.78	1.93
19	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	-1.93	20.09	2.13
20	グローバル・ソブリン・オープン(3ヵ月決算型)	2.15	4.12	1.71

(2) 外貨建一時払保険の販売会社における比較可能共通KPI

① 運用評価別顧客比率【2021年度】



○ 対象商品：

- ・ 外貨建医療保険・外貨建平準払保険を除く外貨建一時払保険
- ・ 介護保障や特定疾病保障等の生前給付の保障が組み込まれた商品は除外。

○ 運用評価額計算：

分子：(解約返戻金+既支払金額) - 一時払保険料
 分母：一時払保険料
 (解約返戻金額については、市場価格調整を反映)

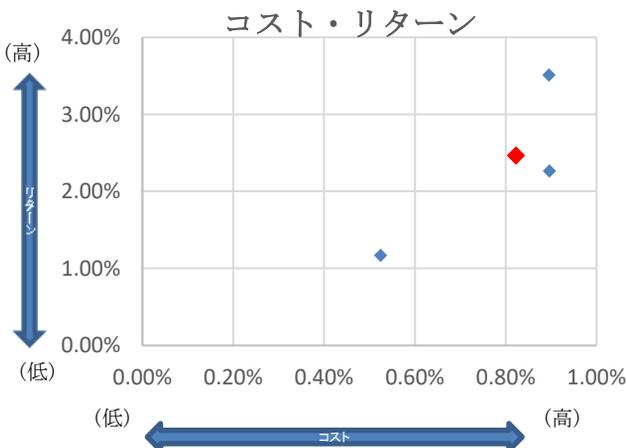
※40.1%のお客様が損益プラス

運用損益別顧客比率は、外貨建一時払保険を保有しているお客さまについて、契約時以降どのくらいのリターンが生じているかを見ることができる指標です。

運用評価益がプラスとなったお客さまの比率は、40.1%となりました。

[契約期間毎保有口数は、1年未満1,297口(23.9%)、2年未満2,081口(38.4%)、3年未満1,166口(21.5%)、4年未満716口(13.2%)、5年未満127口(2.3%)、5年以上29口(0.5%) 合計5,419口]

② 銘柄別コスト・リターン【2021年度】



コスト・リターンは、保険契約開始から5年以上経過した外貨建一時払保険のコスト・リターンの関係を表した指標です。

(対象3商品、対象商品保有口数29口)

銘柄名	コスト	リターン
① 未来につながる終身保険	0.90%	3.51%
② プレミアカレンシー・プラス	0.52%	1.17%
③ プレミアレシーブ(外貨建)	0.90%	2.27%

	コスト	リターン
加重平均値	0.82%	2.46%